

事務事業名 生きがづくり仲間づくり助成事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1094

施策：	10	高齢者福祉の充実	財務コード	--
基本事業：	01	社会参加と生きがづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和63年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市老人クラブ連合会			筑紫野市老人クラブ活動等社会活動促進事業費補助金交付規程等に基づき、筑紫野市老人クラブ連合会が、生きがづくりや仲間づくりを目的として企画・運営して行う各種イベントに対して助成金を交付し、活動及び老人クラブへの加入促進を支援するもの。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【根拠となる要綱等（上記以外）】						
各種イベントへの参加や出展・発表を行うことで、会員の生きがづくりや仲間づくり、連合会への会員加入が促進されています。			<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉法（第13条） ・福岡県高齢者社会活動推進事業費補助金交付要綱 【手続き】交付申請書（報告書含む）提出 交付決定 交付 【イベント内容】会場はすべてカミーリヤ <ul style="list-style-type: none"> ・シニア祭り（1回、11月）H30：800人、出展数209個（83名出品） ・女性部おけいこごと発表会（1回、3月）H30：35組132名出演 ・囲碁大会（2回、春季6月頃・秋季11月頃）H30：6月32人、10月34人 各種イベントは、おおむね60歳以上の市民に呼びかけられている。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
参加者数		人	1,344	998	800	0			800
出展数		人	275	209	200	0			200
5. コスト									
事業費		計	千円	135	135	0			
		国	千円	0	0	0			
		県	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
一般		千円	135	135	0				
正職員人工数		人工	0.02	0.02					
正職員人件費		千円	160	162					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	295	297	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		【状況】参加者数は減少したが、出展数は微増した。							
どちらかといえばあがっている		【原因】参加者については、平成29年度と比較すると著しく減少しているが、それまでの実績からするとあまり変化はない。平成30年度においては、シニアクラブが注力した体育振興を通じたイベント（女性部による卓球バレー大会等の新規内容）の参加者数が伸びている。シニアクラブ活動の周知には積極的に取り組んでいるが、役員等の方針により年度により注力する分野が変化し、実績に影響すると思われる。							
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性			維持	見直し	廃止	事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和元年度から「シニア活動推進助成事業」へ統合。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
老人クラブ連合会に補助を行うことで、各種イベントの開催が可能となり、生きがづくりや仲間作り、連合会会員加入を促進することを目的として、昭和63年度から事業を開始。									